

アマモ藻場調査（手打小泊港）

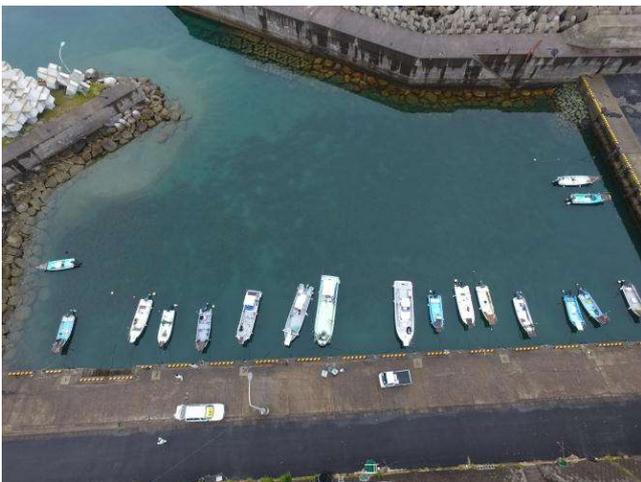
令和3年5月7日，26日

北薩地域振興局

令和3年5月7日に水技センター，5月26日に鹿児島大学が手打の小泊港でアマモ場調査を行いました。

小泊港は県内でも多年生アマモが繁茂する貴重な場所のようです。現在は人の背丈ほど成長しており，夏には漁船の航行を邪魔するほど繁茂します。

手打集落集落では小泊港の対岸でアマモ場の造成を試み，過去には現地普及員も支援していますが，なぜか手を加えていない小泊漁港内にのみアマモが繁茂しています。



小泊港：水技ドローン撮影
港内ほぼ全体の黒色域はアマモ群落



鹿児島大 港内潜水準備風景



小泊港内船だまり内のアマモ（底質は泥）



鹿児島大 潜水調査風景